

骨髓バンク 2001年10月 会報15号

日本骨髓バンク骨髓提供希望者(ドナー)登録者数:142,567人(県内2,073人)
 骨髓移植希望者(患者数):1,616人(県内44人)
 バンクを通じての移植例数:3,621例(県内移植数55例、県内採取数52例)
 (2001年9月末現在)

8 - 10月 茨城県内イベント等での登録会および募金実績
 皆様ご協力ありがとうございました。

| 開催日 | ドナ-登録会 | | ハル-ン 募金 | イベント名、場所 | 募金 金額(円) | ドナ-登録 者数(名) | |
|--------|--------|----|------------|-------------------|-------------|----------------|----|
| | 献血並行 | 単独 | | | | | |
| 8/25 | | | | どすこいペア2001祭り(関城町) | 17,494 | 7 | |
| 8/26 | | | | 日立ふくしまつり | 10,423 | / | |
| 9/1 | | | | 「祭り、つくば」(クレオ) | | | 12 |
| 9/15 | | | | 日立市よかっぺ祭り | | | 5 |
| 10/4 | | | | 水海道市民会館 | | 6 | |
| 10/6,7 | | | | いばらき県民祭り2001(県庁) | 67,115 | 22 | |

10-2月 茨城県内イベント参加へのお願い

秋から冬にかけて、学園祭での登録会や、骨髓バンク10周年記念全国一斉登録会が予定されており、一人でも多くの方のご協力が必要となります。初めての方も大歓迎！半日でも結構ですのでご参加お願いします。

*注意:下記予定は変更になることもございますので、事前に事務局までお問い合わせ下さい(事務局連絡先はPage 4をご覧ください)

| 開催日 | ドナ-登録会 | | | イベント名、場所 |
|-------|--------|----|-------|------------------------|
| | 献血並行 | 単独 | 献血ルーム | |
| 10/28 | | | | 常磐学園祭 |
| 11/23 | | | | 茨城学園祭(水戸)(MAMOのメッセージ展) |
| 12/9 | | | | 全国一斉登録会(水戸駅北口) |
| 12/9 | | | | 全国一斉登録会(つくば献血ルーム) |
| 1/? | | | | 保健所 |
| 2/8 | | | | NEC茨城日本電気(株)(関城町) |

ドナ-登録者30万人をめざして!

8 - 10月 茨城県内イベント参加および登録会報告

8/25 どすこいペア2001祭り(関城町)での登録会

8月25日(土)に関城町の「どすこいペア2001」で、県西地区初の登録会が行われました。天気はうす曇りで心配だった暑さも何とかこれなら我慢できそうな陽気の中、下館保健所から8名、とちぎの会から高橋さん、落合さん、いばらきの会から牛島さん、落合(佐)さん、佐藤ちい子さん、中津川さん、鈴木さん、山崎(揚)さんで登録会を実施いたしました。

受付者9名のうち7名が登録、未登録1名は後日登録、1名は血圧不良の為不可。午前中登録者2名、午後5名でした。祭り自体が午後からだった事もあり午後に登録者が多かったようです。今回は血液センターとの兼ね合いもあり登録時間が3時30分までになってしまい登録数が一桁でしたが来年は昼から夕方にかけて実施できればと考えています。ペンシルバルーンはすぐ隣でもやっていた事もあり、「17,494円」でした。(鈴木)

8/26 日立ふくし祭り参加

8月26日(日)日立市のふくし祭りでバルーン募金を行いました。前日の関城町どすこいペアと二日続きのイベント参加のため、準備段階では参加見送りの意見もありましたが、瀧さんが祭り実行委員として頑張ってくれているので、当会モットーに基づき参加することにしました。会場に到着すると瀧さんが既に簡易テントを設営してくれていました。前泊のおかげでゆっくりと睡眠時間が取れてどすこいの疲れもかなり回復しましたが、飲み疲れは残ってありました。午前中にビールを一杯飲んでからようやく調子が出てきました。安藤さん、波崎から遠路ご苦労様でした。一年数ヶ月ぶりの大屋さんのお元氣な顔にもお目にかかれました。それと今回飛び入りの太田兄妹にはバルーン作りに大活躍してもらいました。若い頭は作り方の理解も早く、お客との対応にも後半はかなり慣れた様子でした。また来年も参加してもらいましょう。そして来年も二日連続のイベント参加にチャレンジしますから、皆さんも是非参加してください。当日の参加者は大屋、安藤、瀧、中津川、佐々木、太田兄妹の皆さんでした。ふくし祭りでの募金額は「10,423円」でした。(牛島)

9/1 「祭り、つくば」(クレオ)での登録会

9月1日に、つくば市のショッピングセンター「クレオ」において、献血並行型の登録会が行われました。「祭り、つくば」というイベントに合わせたもので、つくば保健所の協力のもと、12名の方の登録者を得られました。献血者は、65名です。このお祭りでは初めての登録会でしたが、来年度以降も続けられれば、と考えております。(中津川)

献血車脇にテントを立てての登録会でした。



よかっぺ祭り登録会場前でのおみこしです。



9/15 日立よかっぺ祭りでの登録会

9月15日の敬老の日、日立市のよかっぺ祭りにおいて献血並行型の登録会が行われました。10名の受付に対し、登録者は5名という結果となりました。5名の方は、不適格条件により登録できなかったわけですが、その原因として、アメリカのテロにより新聞社への十分な事前報道がなされなかったこと、また実行委員会サイドからの制約により十分な呼びかけが出来なかった、かつ天候が不安定で、祭り来場者が少なかった事が原因と考えられます。来年度以降は、この結果を踏まえて、十分な対応を考えております。なお、献血者は131名の方にご協力頂きました。(中津川)

10/4 水海道市民会館での登録会

10月4日(木)水海道市民会館(市役所隣接)にて献血並行型ドナー登録会を実施しました。本来でしたら私達(財団の地区普及広報委員)が実施日や場所等を交渉し、ライオンズへの打合せや事前調整を行わない登録会にこぎつけるのですが、当該保健所の水海道保健所の職員が、日立よかっぺ祭り登録会を下見するほど熱心な事もあって、場所の確保、ライオンズへの働きかけ、広報などは保健所主体で実施できました。参加者は牛島、鈴木、山崎揚久、晃子の4名で、説明員は鈴木、晃子に加え保健所の福永さんにも実習して頂きました。当日は献血が始まる前に献血者が押し寄せ混雑状態。献血者は176名と大盛況でしたが、それに比べ骨髄バンクドナー登録者は11時頃からちらほら現れ、結局6名の登録者。ご来場された方々の平均年齢が50歳を超える方が大半である為、登録数が伸びなかったようです。今回注目すべき点は保健所だけでも登録会が実施できる事を証明できた事です。気持ちさえあれば出来るのです。今回をモデルケースとして、各保健所が主体となって登録会を実施していただければと考えおります。

(山崎)

水海道登録会は保健所の福永さんも説明員を初体験。

県民祭りはテントの中で登録会。



10/6,7 いばらき県民祭り2001での登録会(県庁)

10月6日(土)、7日(日)の2日間、茨城県庁周辺において“大好きいばらき県民まつり”が開催されました。ドナー登録受付とペンシルバルーン募金についてそれぞれテントがセットされました。7日は、献血並行型のドナー登録会を行い、22名の方にドナー登録していただくことができました。その際、赤十字の高校生の皆さんに、献血のPRと同時に骨髄バンクのチラシ配布もしていただいたことは、献血協力者の方への効率的なアピールに繋がったのではないかと思います。今回登録会は7日のみの開催でしたが、6日にドナー登録を希望されていた方も数名みえたので、それは残念でした。今年は両日共に好天に恵まれ、2日間にわたって行ったペンシルバルーン募金では、家族連れの方々をはじめ多くの協力をいただきました。できあがったバルーンを受け取ってくれる子供たちの笑顔にはとても励まされ、これからの活動のエネルギーを充電してもらいました。また、募金に協力いただく際に、骨髄バンクに関する疑問を尋ねられることがありましたが、自分自身の理解不足を痛感したので、適切に説明することができるよう努力したいと思います。参加者は牛島さん、山崎さん御夫妻、瀧さん、落合さん、鈴木さん、薬務課の床宿さんと女性職員の方、保健所の課長 長州さん、稲川。ペンシルバルーン募金は67,115円でした。参加された皆さん、お疲れ様でした。

(稲川)

要望書提出活動へのご協力をお願い

現在、全国協議会では「骨髄移植に関する医療保険の適用」について厚労省へ要望書を提出し、その実現に向けて国会議員や関係学会などにも協力を呼びかけていますが、厚労・財務両省の壁は想像以上に堅く、実現の目処は全く立っていないのが現状であります。そこで全国協議会では広く一般国民の皆さんに、経済的に過重な負担を強いられている患者さんの負担を軽減するため、厚労大臣宛の要望書FAX作戦をお願いすることになりました。つきましては会員の皆様にも本活動へのご協力をお願いする次第です。(要望用紙を同封いたしました。)

趣旨に賛同される方は署名して、指定の厚労省FAX番号に宛てて送信をお願いします。また活動期間としては10月末ごろまでをお願いします。

(牛島)

骨髄バンクのボランティアを応援してください

骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。ご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。

郵便振替口座名義:00110-3-127575 加入者名義:骨髄バンクを支援するいばらきの会

NEWS

(財)骨髄移植推進財団事務局 Monthly Report 10月号より

チャーター便募金へのご協力ありがとうございます。目標へあと一歩

(財)骨髄移植推進財団では、米国同時多発テロ事件の影響による、米国からの骨髄液緊急輸送のためのチャーター便の費用をまかなうため「特別キャンペーン募金」を実施してまいりました。10月10日現在の募金額は、約1370万円。ご寄付賜りました皆さまに心よりお礼を申し上げます。当初10月15日までの予定でしたが、現在も各地で呼びかけや集約を行っていただいていることもあり、募金受付を11月15日まで延長いたします。引き続き、あたたかいご支援とご協力をお願い申し上げます。

問い合わせ先 : 財団フリーダイヤル:0120-445-445 / ドナーズネット:<http://www.donorsnet.net>

全国一斉登録会のお知らせ

骨髄バンク設立10周年を記念して、12月の推進月間に全国100ヶ所で5000人の登録者確保を目標とした一斉登録会が開催されます。県内では以下のような計画が進行中です。正式に決まりましたら改めてお知らせしますが、当日は多くの会員の皆様のご協力が是非とも必要です。皆様のご予定を今から空けておいてください。

日時:12月9日(日)10時から16時
会場案

水戸駅北口
つくば献血ルーム

(牛島)

Jリーグが骨髄バンクへ正式に協力

Jリーグは骨髄バンクへ正式に協力する(9月18日付)と各報道関係者へ発表いたしました。

協力内容:

Jリーグ公式試合における、電子掲示板での告知活動。

Jリーグ公式出版物での「骨髄バンク普及広報内容」の掲載。

Jリーグ公式ホームページから、骨髄バンクホームページへのリンク。

Jクラブホームページから、骨髄バンクホームページへのリンク。

これからの鹿島スタジアムでのPRキャンペーンにいつその弾みがつくでしょうから鹿島地区の皆様ご協力お願いいたします。後ほどアントラーズフロントサイドと交渉いたします。(山崎)

事務局より

事務局から御協力をお願い 皆様方のお住まいになっている

各市町村や企業などでのイベントがありましたらお知らせください。骨髄バンクのPRに役立てたいと考えております。ご協力お願い致します。

年度年会費納入のお願い 皆様からの会費は大切な運動資金です。有効に活用致します。また善意のご寄付もよろしくお願い申し上げます。 年会費 一口 2,000円 何口でも

会費納入とご寄付をありがとうございました

(2001年8月24日～2001年10月22日現在)(順不同敬称は略させていただきます。)

寄付:立原三郎さん(5,000円)、牛島英二(30,000円)、山崎揚久・晃子(5,000円)

会費:

お寄せいただいたご寄付のうち、会費未納の会員からは会費(年2,000円)を差し引いて掲載させていただきました。

発行:骨髄バンクを支援するいばらきの会 <http://www.marow.or.jp/ibaraki>

発行責任者:牛島英二 編集:山崎揚久・落合佐智世

<事務局> 〒311-1415 茨城県鹿島郡旭村造谷605くるみ屋内

TEL:090-8306-7111/FAX:0291-37-1425/E-mail:yamazaki@kurumiya.com